

「心が聴こえる市政の会」

所属議員の
一般質問について令和4年3月定例会から12月定例会までの
主な一般質問とその答弁

所属議員の一般質問動画はコチラ

3月



6月



9月



12月



3月定例会

2月18日(金)～3月17日(木)の28日間

(一部抜粋)

テーマ「障がい児への早期支援に向けた取組」

Q.質問 豊田市こども発達センターの今後の方向性は？

A.答弁 ▶豊田市こども発達センターは、発達支援の必要な子どもを受け入れて、療育・支援を担ってきた。▶豊田市においても、民間の児童発達支援事業や放課後等デイサービスなど、障がい児を対象とした福祉サービスが充実しつつあり、また、地域共生の意識が高まる中、こども園や学校においても、保護者の意向を尊重し、障がい児の受け入れを進めているところ。▶引き続き、早期療育に取り組みつつ、積み上げてきた専門的な知見や関係機関とのつながりを生かし、地域の民間事業所やこども園、学校等のバックアップや、子どもの発達を支援する人材の育成など、豊田市における療育の中核的な機能を果たしてまいりたい。

6月定例会

6月10日(金)～6月29日(水)の20日間

テーマ「コロナ禍における教育現場の感染症対策」(一部抜粋)

集団生活における感染症対策

Q.質問 小中学校における感染症対策の主な取組と発生時の対応は？

A.答弁 ▶主な取組として、文部科学省が作成した「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に基づき、手洗いや換気の徹底、マスクの着用、登校時の健康観察など、基本的な感染対策を行っている。▶発生時には、感染した児童生徒が活動した範囲を教職員が消毒を行う。▶複数人の感染者や体調不良者が発生した場合は、学級閉鎖等を行い、校内での感染拡大防止を図っている。

9月定例会

9月2日(金)～9月29日(木)の28日間

テーマ「子どもにやさしい市政をめざして」(一部抜粋)

子ども目線の施策推進

Q.質問 子どもの声を聴くことや、子どもの目線に立って豊田市の施策を推進することは、子どもの権利を保障する上でとても重要だと思うが、豊田市の施策で何か工夫していることは？

A.答弁 ▶豊田市では、豊田市子ども条例に基づき、子ども会議を開催し、子どもにやさしいまちづくりについて、子ども達の意見を聴く場や、子ども達の社会参加の場としている。▶第3次豊田市子ども総合計画では、子どもにとって最善の利益となっているかどうかという視点で、事業の実施・実績管理を行っている。▶具体的には、事業を実施する庁内各課に対して、子どもの視点での配慮・工夫がなされているかを確認している。▶特に、子どもが当事者となる事業については、子どもの意見を事業に反映させる必要性について理解してもらうとともに、子どもの視点を大切に事業を進めてもらうよう呼びかけている。

12月定例会

12月2日(金)～12月21日(水)の20日間

テーマ (一部抜粋)

「デジタル社会と情報アクセシビリティ」

デジタルデバイス対策

Q.質問 障がい者をはじめとするデジタルデバイドの対象となり得る方を支援する新技術について、最近の動向をどのように把握しているか？

A.答弁 ▶デジタルデバイドの対象となり得る方を支援する具体的な新技術としては、リアルタイム音声認識アプリ、文字やハンドサインが表示される窓口用ディスプレイなど多様になっていると把握している。▶このような技術の情報収集や関係課への展開等を民間企業との意見交換を重ねていく中で継続的に実施していきたいと考える。

「心が聴こえる市政の会」

所属議員の討論について

令和4年3月から12月定例会までの賛否討論の一部

賛成

省エネ家電設置費補助金や
省エネ設備導入支援補助金などに
関する補正予算

物価やエネルギー価格の高騰により、市民生活や事業者の経営を圧迫している状況の中、市民向けの省エネ家電設置費補助金や事業者向けの省エネ設備導入支援補助金の新設により、環境に優しい省エネの促進でコストの削減やCO₂排出量の削減につながり、さらにカーボンニュートラルの実現に向けた取組の促進につながると理解できます。以上のことから、市民にとっても、事業者にとってもメリットがあると理解し、今回の一般会計補正予算について、賛成といたします。

反対

情報開示請求にかかる請求手数料等導入

少数の請求者に対し、多くのコストを負担している状況から、受益と負担の公平を確保するために開示請求にかかる手数料を導入するという理由ですが、請求手数料の導入や従前から徴収している写しの交付に要する実費に加えてさらなる開示手数料を徴収することは市民の知る権利及び市政の透明性を後退させる危険があると考えます。また、知る権利を行使することは請求者個人の受益ではなく、市政全体の向上につながり、市民全体の受益となりうると考えます。以上のことから、反対します。

反対

市長や市議会議員等のボーナスの引き上げ

議員の報酬や特別職員の給料については、民間の平均の待遇に比べると高額であり、さらなる引き上げの必要性については、電気代や物価の高騰が続いている中、物価変動を反映した実質賃金が7カ月連続で減少しており、今の情勢では適応と言いつても難しいため、市民の感覚にしてみれば、理解できるものではないと考えます。また、今回の定例会に上程された情報開示請求にかかる手数料の導入や水道料金の引き上げなどの見直しにより、さらなる市民の負担をお願いする状況では、まず、議員自らが身を切る覚悟で市民の方をお願いする姿勢を示すべきであると考えます。以上のことから、反対します。

「心が聴こえる市政の会」政務活動費の執行状況について

令和3年度執行実績及び

令和4年4月から令和5年1月までの執行状況

令和3年度執行実績

項目	執行金額(円)
調査研究費	19,250
広報広聴費	106,000
事務費	4,382
合計	129,632
残額	470,368

※それぞれの支出項目に含まれている意思疎通支援者謝礼(手話通訳等)の総額は19,250円でした。残額については、全て市へ返納しています。

令和4年度執行状況(令和4年4月から令和5年1月まで)

項目	執行金額(円)	使用目的
調査研究費	120,225	「議会における文字通訳の取組について」(川崎市議会)、「聴覚障がい者の防災体制の確立について」(岩手県聴覚障害者協会・福島県聴覚障害者協会)、「施設におけるバリアフリーの取組について」(日本科学未来館)
資料購入費	8,360	「障害者総合支援法がよ〜くわかる本[第6版]」(福祉行政法令研究会)、「特別支援教育」(平田直)、「特別支援教育・療育における聴覚障害のある子どもの理解と支援」(廣田栄子)
事務費	2,776	事務用品
合計	131,361	

※それぞれの支出項目に含まれている意思疎通支援者謝礼(手話通訳等)の総額は33,819円です。政務活動費は、議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部を補助し、議員の政策形成能力や審議機能の強化のために、会派及び議員(会派に所属する者を除く。)に対して交付しています。交付額は年間60万円以内で、余ったら市に返還しなければならないというルールがあります。各派の執行状況については豊田市議会ホームページや豊田市役所南庁舎1階にある市政情報コーナーで閲覧できます。

市政・議会に関する意見や要望などがございましたら、お気軽にご連絡ください。

【発行】豊田市議会「心が聴こえる市政の会」豊田市西町3-60(議会内) FAX.34-6566 [所属議員は耳が不自由です。ご連絡の際には、FAXかメールにてお願い申し上げます]

【発行責任者】中島 竜二 豊田市花園町小泉82番地1 FAX.53-1499 E-mail:nakajimaryuji@outlook.com

https://nakajima-ryuji.com/

